



## エンジンカテゴリー走行手順

平成 27 年 7 月

選手と助手は、待機場所(ステージングエリア)において前ヒート参加者が移動した後に、待機場所への入場が許される

操縦台の入場は、前ヒートのドライバーがすべて退去した後に行う、入場は定められた順による

助手はドライバーがすべて定位置に着いたのちにピットに入場する、その際の並び順は操縦台上の選手の並び順と同じ

### 予選レース

コースオープンコールでウォームアップ開始、同コールから指定分でスタート、スタート 1 分前でピットに集合しスタートオフィシャルの指示に従い順次スタートする(ウォームアップ時間は、大会毎にタイヤコントロール等の諸条件により決定される)

予選計測終了後、助手はマシンの燃料タンクを指定の容器に排出し、車検場に燃料ボトルを添え提出すること

ドライバーは送信機を返却し、速やかにマーシャルポジションに(代理可)向かうこと

### 決勝レース

グランドファイナル以外のファイナルはスタート位置を除き予選レースと同じ手順で行う

グランドファイナル写真撮影は、10 名がマシンを持ち前列 1-5 グリッド、後列 6-10 グリッドの整列により撮影する

写真撮影後、ドライバーは操縦台位置を決定、操縦台後方で待機したのち選手紹介で定位置に進み、全員紹介後ウォームアップ開始

コースオープンコールから 6 分でスタートスタート前 20 秒もしくは 30 秒までにグリッドに整列すること、グリッドにつけない場合は、ピットスタートとなる(20/30 秒の決定はスタート位置とピットの距離により決定する)

グリッドの配置において、スペースが確保される場合、助手はスターティンググリッドにスターターBOX・燃料ボトルを持ち込める

### スタート遅延宣言

グランドファイナルにおいてなんらかの事情によりスケジュール通りのスタートができない場合、1 名のみ・1 回のみ、ヒートの遅延要求を認める 遅延要求のコールは 10 カウントの前までに選手、もしくは助手により行われる。遅延決定から 13 分でスタート(10 分・コースオープン、2 分・ウォームアップ、1 分集合) 再スタート時、遅延コールしたドライバーは最後尾スタートとする